



さくらの輪



令和元年
9月13日発行
第15号



Index (見出し)

- ▶ 第1回防災訓練の反省と課題および今後の予定について
- ▶ 宇美町消防団操法大会について
- ▶ 安全安心のまちづくり研修会を受講して
- ▶ 『うみあいす(産み愛す)』について 小林孝昭さんのはなし
- ▶ 桜原小学校地域交流祭について
- ▶ 父親委員会・親父の会主催 『ソーメン流し』について
- ▶ 各地区の夏まつりについて
- ▶ その他
- ▶ 次号予告・訂正とお詫び

第1回防災避難訓練 6月2日(日)の反省と課題および今後の予定について

訓練の目的: 決められた時間内に指定した一時避難所に各自避難すること。

☆ 反省と課題

● 良かった点

- ・ 全体として2千名を超える人々の参加があり、参加率25%だった。
(参加人数は、同日に久留米市で実施された福岡県主催の防災訓練を超えていたそうです。)
- ・ 集合場所での人数確認をしやすくするため、予め組別の旗やプラカード等を用意した。
目立つように、組長にヘルメットをかぶってもらったなどの自治会もあった。
- ・ 組長に要支援者を通知して、その方々へも声掛けをした。

● 悪かった点

- ・ ラブアースが後に控えていたので、ただ集まっただけで終了したことに不満を漏らす声が多かった。
- ・ 訓練の放送が聞こえないエリアがあった(校区内だけの訓練だったためボリュームを落としていた)。
- ・ 小中学校の先生との連携がうまく取れていない自治会もあった。
- ・ 訓練開始時間が早かったので、避難所までの距離が遠い地区では、災害発生の放送を行なう前に、高齢者が避難所へ来ていて、訓練の意味が薄れていた。
- ・ 若い世帯では、子供の用意に手間取り、時間内に来れなかったという意見もあった。
- ・ 自治会未加入世帯では参加者が少なかった。

● 今後の課題

- ・ 今回は第1回目ということもあり、一部の自治会を除き、要支援者をサポートするまでには至らなかった。
- ・ 今回はラブアースと同日だったが、検討の余地あり。
- ・ 防災メールを活用する。

など。

☆ 今後の予定 第2回防災訓練 について

訓練の目的： 大規模な災害が起きた時を想定した、役場と避難者と地域とが一体となって取り組む『避難所の運営訓練』で、前回より現実的なものにする。

- ・主催は桜原小学校区コミュニティ運営協議会と役場の総務課
- ・今後、4回～5回の防災会議を経て訓練を実施します。

なお、第1回防災会議は 8月20日(火) にありました。

宇美町消防団操法大会 6月16日(日)



桜原小学校区に於いては、第2、第5、第10分団の方々に特にお世話になっています。消防団の方々は日頃は普通に仕事をされています。感謝しかありません。

安全安心のまちづくり研修会を受講して

安全安心の まちづくり 研修会



テーマ みんなで考えよう！これからの地域の安全安心

犯罪や事故のない安全・安心なまちづくりを推進していくためには、『自分たちのまちは自分たちで守る』という考えの下に、自らが高い防犯意識をもち、町・住民・事業者等が連携して助けあう意識をもって犯罪や事故が起こりにくい環境の整備を推進することが重要です。

そこで、各校区コミュニティの防犯部会や学校の見守り隊、PTA等の安全安心に関する様々な団体が一堂に会して、意識の高揚や取組の充実を図ることを目的として本研修会を開催いたします。



日時 7月30日(火) 19時～20時30分(開場18時30分)

場所 うみ・みらい館 多目的ホール

対象 校区コミュニティ・自治会・PTA・学校等、関心のある方

開会行事 あいさつ 地域全体で取り組んでいる活動紹介	19時00分～19時10分
1部 講話 【演題】「地域全体で進める、安全安心のまちづくり」 【講師】 福岡県警察粕屋警察署	19時10分～19時50分
休憩 (10分)	
2部 意見交換 「安全・安心な地域を作るには どうすればよいか？」	20時00分～20時25分
閉会行事	20時05分～20時30分

【お問い合わせ先】 宇美町 まちづくり課 黒川 慎尾 電話:092-934-2370

申込み方法 裏面に必要事項をご記入の上、まちづくり課へ
FAX 092-934-2371 でも可 締め切り・令和元年7月19日(金)

うみ・みらい館にて研修会が開催されました。講師は、粕屋警察署の 林 純一 氏でした。

加害者から身を守る対策などの『防犯意識と対応のための活動』・『環境の整備』・『住民意識の高まり』の3本柱をきちんとすることが、犯罪を減少させることに繋がるとのお話をいただき改めて考えさせられる研修でした。

福岡県は全国ワースト3の性犯罪数で、その中でも粕屋署管内が最も多いそうです。

最近では女子高校を中心にSDE(自己防衛教育)の指導が行われているとのこと。

桜原小学校区内に於いても、安全安心部によるパトロールが定期的に行われています。

空き家の整備や落書きをさせない環境作りや草刈等は、町が美しくなると同時に犯罪を起こそうとする者の隠れる場所を減らす効果や意識を変えさせる効果をもたらすそうです。

「地域のコミュニケーション力を向上させることは、災害などいざという時の対応に役立つことや、少子高齢化が進みつつある現在における助け合いや見守り、そして防犯にも繋がる」と教えていただきました。

『うみあいす(産み愛す)』について



みなさん、このアイスをご存知ですか？

早見の小林孝昭さんが「ヤギの乳が人の母乳に近く栄養価が高いものであり、消化も良い」ということと「宇美町の町名の由来」、さらに「宇美八幡宮の『安産・子育て』のイメージと合う」ということを考えて作った、ヤギの乳100%のミルクアイスクリームです。

この商品は、今年で4回目を迎えた『ふくおかよかこビジネスプランコンテスト』においてみごとグランプリを受賞しました。(広報うみ4月号)

小林さんは、宇美町のイメージアップにつながり新名物になればと願って、日々販売拡大に頑張っておられます。

とてもおいしいので皆さん、応援よろしくお願いします。

桜原小学校地域交流祭 9月28日(土)について

秋なのに さくらまつり

令和になって初の地域交流祭を開催します。子どもから大人まで楽しんでいただける出店や吹奏楽などの催しを用意しています。

家族、知合いと見に来ちゃんしゃい。グラウンドゴルフもあるよ！



桜原小親父の会主催 ソーメン流し 7月27日(土)



スライム作り



・桜原小学校にて『父親委員会と親父の会』主催のソーメン流し(流しソーメン?)がありました。

半分に割った竹の水路(3本・3列)を勢いよく流れていくソーメン。それを一生懸命取ろうとする子供たちの姿がほほえましく、またその後には運動場一杯に広がって水鉄砲の打ち合いがあり、満面の笑みが見られました。他にも、体育館内でのスライム作り、飯盒炊爨(はんごうすいさん)で作ったおにぎり、バーベキュー、かき氷など…。盛りだくさんの楽しい一日となりました。

各自治会の夏祭り

神山手夏祭り 7月27日(土)

第一公園広場にて神山手夏祭りがありました。子供みこしあり、出店あり、舞台でのカラオケやダンス、ゲームなどもあり、地域の一体感が得られ、こちらも楽しい時間となりました。



黒穂夏祭り 8月3日(土)



黒穂自治会にて盆踊り大会が開催されました。

曲の紹介は子供たちが行い、5曲踊っては休憩の繰り返し。

合間に子供の花火などもあり、皆さん笑顔の中、お孫さん・ひ孫さんと来られた、おじいちゃんやおばあちゃんも楽しそうでした。

柳原夏祭り 8月3日(土)



柳原夏祭りは、「こどもみこし」が地域内をねり歩き、夏祭り会場に入ってきて始まります。

会場には色んな出店が設けられ、多くの人でにぎやかでした。

三原カラオケ大会 8月24日(土)



台風で延期された三原カラオケ大会は、久しぶりに行なわれたこともあって、子供から大人まで、大変盛り上がりました。

また、子供たちに人気の歌は「パプリカ」で、元気あふれる歌声に、会場から大きな声援がありました。

その他

◆ 第1回 桜原小学校区地域合同情報交換会 6月20日(木) について

目的: 桜原小学校・PTA・自治会・校区コミュニティ運営協議会の交流促進事業および情報の共有化。

・今回は参加者の自己紹介と活動報告などがなされ、今後も定期的の実施することが決まりました。

◆ 青少年育成部からのお知らせとお詫び

予定しておりました通学合宿ですが、諸事情により、今年はやむなく中止させていただくことになりました。誠に申し訳ございません。来年以降の実施につきましては時期なども含め、再考して行ないたいと思います。

次号予告

◎ 地域交流祭について、 ◎ 防災会議関連、 ◎ コミュニティ主催グラウンドゴルフ大会、 他。

訂正とお詫び

前号(14号)にて、桜原自治会長のお名前を誤って表示しておりました。正しくは 田中芳明 様です。訂正してお詫び申し上げます。